

特集

看護部 出前講座
「病院を身近に感じていただくために」

各科日より	2・3 P
神経内視鏡手術について	4・5 P
大腸CTについて	放射線科
初期研修医と新人臨床検査技師	6 P
新人看護職員の抱負	7 P
患者さんのためのオアシスコンサート	8 P
院長伝言板	患者総合支援センター「おあしす」だよ

市立砺波総合病院憲章

わたくしたちは 市立砺波総合病院の職員であることを誇りとし 愛と奉仕の精神のもとに 病気で悩める人々を癒すことに互いの心を結集し この憲章を定めます

市立砺波総合病院は

- 1 患者さんの権利を尊重します
- 1 信頼できる医療を提供します
- 1 医療の安全を追求します
- 1 優しい医療を行います
- 1 職員が働く喜びと誇りの持てる職場をめざします

理 念

地域に開かれ
地域住民に親しまれ
信頼される病院



市立砺波総合病院
Tonami General Hospital

〒939-1395 富山県砺波市新富町1番61号
TEL 0763-32-3320(代表) FAX 0763-33-1487(総務課)
E-mail tgh-somu@city.tonami.lg.jp
ホームページ <http://www.city.tonami.toyama.jp/tgh>

特集

看護部 出前講座

「病院を身近に感じていただくために」

看護部広報委員会

歴史

5月12日がナイチンゲールの誕生日であることから、1990年5月12日が『看護の日』と制定されました。



今日の『看護の日』は、21世紀の高齢化社会を支えていくうえで、看護の心、ケアの心、助け合いの心を広く国民が、分かち合うことが必要であるということをはたらきかける日です。

出前講座の始まりは、その看護の日からでした

1990年5月

看護部白鳩会で開催

『トナミプラザ』や『ジャスコ』で活動

2004年より

看護支援部会に移行

院内正面で活動

始めてから9年を迎えることができました

2007年より
看護部活動を地域住民に広報開始

2012年から『14歳の挑戦』『高校生1日見学』も広報活動開始しました



高校生1日見学



14歳の挑戦

SATを使い体験

いつもの食べている量・栄養バランス・カロリーを知っていただいた



2009年5月 撮影



2010年5月 撮影

※SATとは食育フードモデルシステムのことです。

病院長も参加



2007年より地域の皆さんが健康で豊かな生活が送れるように支援したい、看護部の活動を地域住民に広報することにより、病院を身近に感じてもらいたい、と始めたのが出前講座です。現在は、6講座あります。

初回は、「尿失禁について」～一人で悩まないで～のテーマでした。

メンバーが寸劇をし、その内容についてプレゼンをするというものです。泌尿器科部長には、初回から毎年協力していただいています。

院長にも、認知症と糖尿病について一緒に参加していただきました。

2 尿失禁について



1 認知症について



4 高齢者が元気であるために



3 糖尿病について



6 かかりつけ医をもちましょう



5 在宅看護について



あなたの地区にもお伺いします。
詳しくは病院（総務課）までご連絡ください。

出前講座依頼募集中!



大腸CTについて



はじめに

皆さんは大腸CTという検査をご存知でしょうか。大腸CTとは大腸を拡張させた状態でCTを撮像し、大腸病変の有無を判定する検査法です。当院でも平成26年度から大腸CTをはじめています。この1年間で約100人の患者さんの検査をおこないました。

なぜ大腸CTをするのか

日本の大腸がん死亡率は上昇の一途をたどり、女性ではがん死因の第1位に、男性では肺がん・胃がんにつづいて第3位となっています。近年、欧米を中心として大腸CT (CT colonography) の有用性についての報告が多数みられるようになっていきます (Accuracy of CT colonography for detection of large adenomas and cancers. Johnson CD et al. N Engl J Med. 2008; 359 (12) :1207-1217など)。治療対象とすべき10mm以上の病変に関して大腸CTは内視鏡と同等の病変検出能をもつということがわかってきました。大腸がんは早期で治療すると完治が期待できるので、日本では40歳以上を対象として便潜血での検診がおこなわれています。便潜血で異常が見つかった患者さんのうち、90%は内視鏡で異常がないといわれており、内視鏡をするかどうかの判断材料として大腸CTをおこなうことは理にかなっているといえます。大腸CTで病変が疑われた場合には確定診断をするための内視鏡をお勧めします。病変がある患者さんは結果的に大腸CTと内視鏡の両検査をしていただくこととなります。二度手間のように思えるかもしれませんが、大腸CTをしておくことと病変の解剖学的な位置情報を把握しやすいので治療に役立つこととなります。

日本では平成24年から大腸がんが疑われる患者さんに対しての大腸CTが保険適応となり、多くの施設で大腸CT検査を施行するようになりました。当院では大腸がんを扱う診療科 (大腸肛門科、消化器外科、消化器内科) を中心として患者さんに大腸CTを大腸がん検査の選択肢として提示できるようになっています。

当院の大腸CTの流れ

まずは、検査をする必要があるかどうかを担当医が判断します。次に大腸CTをするか、内視鏡にするかの相談を患者さんとおこないます。何らかの理由で内視鏡が難しい方では大腸CTを最初の選択肢として考えるべきでしょう。大腸がん家系の方などで大腸がんの危険が高い方は大腸CTをスキップして内視鏡をはじめから施行したほうがよいかもしれません。大腸CT・内視鏡の両方が提示され、患者さんに選んでいただく場合もあるでしょう。大腸CTをうけることが決まれば検査日が指定されます。検査前日から検査食となり、検査前日および検査当日に下剤を服用していただきます。CT検査室にて大腸に送気するチューブを肛門に挿入し炭酸ガス自動注入器 (図1) を用いて大腸を拡張させます。十分な拡張が得られたらCTスキャンで体の輪切り像を撮像します。撮像された画像は専用のコンピューター装置を使って大腸CT画像を解析する経験をもった放射線科医師が、病変の有無を判定します (図2)。



図1 炭酸ガス自動注入器

注入圧を低圧で設定し、送気量を観察しながら炭酸ガスを肛門から大腸へ注入します。安全かつ確実に大腸を拡張させることができます。

図2 大腸CTおよび内視鏡

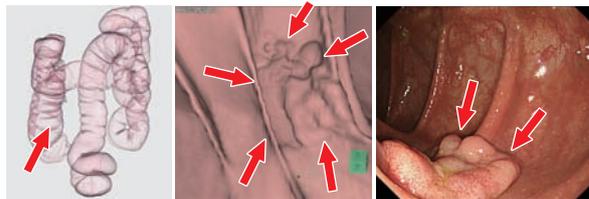


図2-A 大腸CT注腸像 図2-B 大腸CT内視鏡像 図2-C 内視鏡

便通が悪いとのことで受診。便潜血検査で異常となり大腸CTを施行しています。上行結腸にポリープ (図2-Aおよび図2-B) が描出されたので内視鏡をお勧めしました。後日おこなわれた内視鏡で大腸CTと一致する病変 (図2-C) を確認し、顕微鏡検査で大腸がんと診断されました。

最後に

大腸CTは ①前処置 (下剤により腸管を洗浄すること) ②送気による大腸の拡張 ③CT撮像 ④画像処理 および病変の有無の判定 のすべてが適切におこなわれてこそ意味を持つ検査です。当院では最高レベルの大腸CTが実施されていると自負しています。万が一病気が見つかった場合でも、大腸がんの治療経験豊富な外科・内科のスタッフが充実していますので当院で治療をおこなうことも可能です。皆さんの中にはこの検査なら受けてもよいと思われる方もおられるのではないのでしょうか。

放射線科では、今後も最先端の知見をとり入れ、当院の医療レベルの向上に貢献したいと考えております。

初期研修医と新人臨床検査技師

初期臨床研修制度は、医師免許を取得した医師が専門領域にかたよらない幅広い基本的な診療能力や医師として適切な態度・技術・知識を2年間で修得することを目的とした制度です。富山県では毎年100名を超える臨床研修医の募集を行い、約50名の研修医が初期研修を開始しています。研修病院と研修医は全国版のお見合い(マッチング制度)によって決定します。砺波総合病院では、平成27年4月より初期臨床研修医2名が研修を開始しました。先輩の研修医5名と一緒に仲良く学び合っています。

2名の研修医の日常を紹介します。各科の指導医とともに、外来・病棟・



和やかに会話する
坂本研修医



救急外来・透析・手術室等で診療にあたる一方、多くの講義・症例検討会議に参加します。さらに国内の学会に参加して学び、学会発表を行うことで情報発信を行い、得られた知識の体系化・定着を目指します。見聞を広める活動としては、研修2年目に中国黒竜江省の友好提携先病院へ1週間の研修が予定されています。やがては医学生への指導や広報活動、さらには次年度の新人医師の指導・相談役としても重要な役割をはたすことが期待されています。

富山県に医療を担う人材を集めるためには、県内の大学・病院・医療体制に医学生や新人医師が魅力を感じることがポイントとなります。こ



指導医の内視鏡検査に
立ち会う佐野研修医(中央)と
富山大学医学実習生



新村さん

四月より臨床検査科に勤務することになりました。自然豊かで街並みが綺麗な砺波市で働くことができ嬉しく思っています。春に咲いていた一面に広がるチューリップは、仕事へのやる気をより大きくしてくれました。

検査科では、一般検査を担当しています。まだまだわからないことがたくさんあり、戸惑うことが多いですが、学ぶ姿勢を忘れず市民のみさんのために日々努力していきたいと思っています。

谷村さん

この春から臨床検査科の一員に加わりました。最近のマイブームはチューリップを探すことで、生花に限らずモチーフとなっているいろんな場所に隠れているチューリップを発見しては日々癒されています。

生理機能検査室で働いておりますので、お気軽にお声がけくださると嬉しいです。まだまだ新参者のわたしですが、どうぞよろしくお願いします。

臨床検査科



2年目の先輩研修医も頑張っています

のため、新人医師の研修環境の整備は、地域の医療を守るために欠くことの出来ない大切な事業です。砺波総合病院では、臨床研修の充実、医学生実習・見学への丁寧な対応と広報活動に継続的に取り組んでいます。

研修医が在籍する病院は一般的に医療の質が高い、医療の安全性が高いと海外の文献で報告されています。診療を受ける患者さんに不利益が生じないような指導医の配慮の下に、研修医は多くのことを学び取ることが日々努力しています。研修医と接する機会がありましたら、是非とも応援して頂きますようお願い申し上げます。



新人 看護職員の抱負

HCU Hさん

患者さんの信頼を得られる看護を提供したい

東7 Mさん

地域のために、安心される看護師を目指したい

東5 Sさん

新人らしく明るく前向きに頑張ります

東3 Kさん

掛ける声の一つ一つに意識を持って患者さんに接したい

東3 Kさん

患者さんのちょっとした変化に気づける看護師になりたい

東6 Hさん

常に笑顔で明るく患者さんと接できるよう頑張ります

東4 Mさん

早く業務に慣れ一人前の看護師になれるよう頑張ります

外来 Kさん

笑顔で患者さんに信頼される看護師になりたい

西3 Nさん

忙しくても、患者さんの事を考えたケアを提供したい

西3 Mさん

いつも笑顔で信頼される助産師になりたい

西5 Kさん

患者さんの気持が理解できる看護師を目指したい

西4 Nさん

信頼してもらえる看護師になれるよう頑張ります

西4 Oさん

とにかく頑張ります

西3 Kさん

患者さんに真摯に向き合い、ニーズに沿った看護をしたい

東6 Wさん

小さな異変にも気づける看護師になりたい

西7 Oさん

報・連・相を実践して、安全で安楽な看護をしたい

西7 Iさん

一人一人の患者さんと真剣に向き合える看護師になりたい

西6 Nさん

笑顔を忘れず日々努力し頑張ります

西6 Nさん

患者さんに信頼され、話しかけやすい看護師を目指します

西5 Sさん

元気で明るい看護師を目指して頑張ります



平成27年度の新人看護職員

患者さんのための オアシスコンサート

当院では、病気や治療によるストレスを抱えながら入院生活を送られている皆様に、ひとときでもリラックスした時間を過ごしていただけるよう「患者さんのためのオアシスコンサート」を開催しています。

毎年1～2回正面玄関ホールを利用して、クラシックだけではなく、合唱、民謡、邦楽、ギターなどの様々な種類の音楽を楽しんでいただいています。

今年4月27日に開催された第43回オアシスコンサートでは多くの方々が「ジャズコンサート」を堪能しておられました。

これからも、皆さんの心に響く音楽会となるよう努力していきます。
患者さんだけではなく、地域の皆様のご来場もお待ちしています。



院長伝言板

梅雨、到来。
カビにご注意!

いよいよジメジメとした梅雨がやってきますね。梅雨の高温多湿は、カビやダニが繁殖するには持ってこいの環境です。カビと聞いても、せいぜい水虫程度だから怖くないと思ったら大間違い。カビは、ダニ・ホコリなどと並んで気管支喘息を引き起こす代表選手です。また、この時期には「空調熱」と呼ばれる過敏性肺炎が増えてきます。これはエアコンの冷風で舞い上がったカビを吸い込んだりして引き起こされます。換気・除湿・掃除など、万全の対策を講じてカビやダニのさばらないように注意しましょう!

患者総合支援センター

おあしすだより

この4月から砺波市総合病院地域包括支援センター（街なか包括）の職員が常駐しております。

保健師、社会福祉士がおりますので、介護保険制度の申請相談の他、日常生活支援についての総合的な相談、介護予防のための教室の案内や、権利擁護、虐待についての相談にも応じておりますのでお気軽にお声をかけてください。



『患者さんの権利を守るために』

1. 当院では、病気を克服しようとしておられる患者さんの人権を尊重し、その経済的・社会的地位、年齢、性別、疾病の種類などにかかわらず平等で最良の医療を提供します。
2. 当院では、患者さんと一緒に病気を克服するために、患者さんが既に実施された診療の内容と、これから行われようとする検査、及び治療の目的、方法、内容、危険性、治療の見通し及び、これに代わる他の治療法について十分説明し、さらに患者さんの治療に対する希望もお聞きし、相互の理解を得た上で、医療を行います。
3. 当院では、患者さんの希望があれば原則として、患者さん本人にカルテを開示いたします。また、他の医療機関にかかり意見を求めるためや、他の医療機関に移られるときには全ての情報をお渡します。
4. 当院では、患者さんのプライバシーを守るために、患者さんの承諾なく当院の医療従事者以外の第三者に患者さんの情報を開示いたしません。
5. 患者さんの権利には義務と責任が伴います。

以上を守り診療することを約束いたします。

診療案内

外来診療受付時間

- 新患 午前8時15分から午前11時まで
 - 再診 午前8時00分から午前11時まで
- ※診療科・曜日によって異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

休診日

土・日・休日および年末年始